

秋田銀行の取組み

秋田銀行の取組み

コーポレートガバナンスの強化	14
コンプライアンス態勢の強化	15
リスク管理態勢の強化	17
地域経済活性化に向けた取組み	19
お客様の利便性向上への取組み	23
地域社会の一員として	26



コーポレートガバナンスの強化

❖ 基本的な考え方

当行は、「地域共栄」の経営理念のもと、「輝きと存在感を持って、お客様と地域から圧倒的に支持されとともに、地域発展に貢献できる銀行」を目標とする姿としております。

地域金融機関として求められる役割が一段と多様化、

高度化するなかで、株主の皆さま、お客様、そして地域の期待により高いレベルでお応えし、経営理念および目標とする姿を実現するためには、コーポレートガバナンスの確立と維持が重要と考えており、企業経営に関する監視・監督などの強化に努めております。

❖ 経営に関する監視・監督体制

取締役会においては、法令に定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行状況を監督しております。取締役頭取、専務取締役および常務取締役で構成する常務会においては、取締役会から委任を受けた事項やその他経営全般にかかわる事項について協議・決定し、迅速な経営判断および業務執行を行っております。また、当行は監査役制度を採用しており、監査役は取締役会、常務会、その他重要会議等へ出席するほか、状況に応じて取締役に対して提言・助言・勧告をするなど、適正な経営の監視を行っております。

なお、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制を確立するため、平成17年6月に執行役員制度を導入しているほか、平成21年6月に取締役の任期を2年から1年に変更しております。

❖ 内部統制システムの整備状況

当行は、業務の適正をより高いレベルで整備するため、会社法および会社法施行規則に基づき「内部統制基本方針」を定め、内部統制の整備・強化に取り組んでおります。また、財務報告の適正性を確保するため、金融商品取引法に基づき、財務報告にかかる内部統制の有効性を評価する体制を構築しております。

今後とも、これらの見直しを継続的に行い、内部統制の一層の整備・強化をはかってまいります。

内部統制基本方針で定めた事項

- 1 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- 2 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- 4 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- 5 当行および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- 6 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項ならびにその使用人の取締役からの独立性に関する事項
- 7 取締役および使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
- 8 その他監査役による監査が実効的に行われることを確保するための体制

コンプライアンス態勢の強化

コンプライアンス態勢

銀行は、金融機能を通じて経済や社会の発展に寄与するという公共的・社会的使命を担っています。こうした使命を遂行し、お客様からの信頼にお応えしていくためには、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底が不可欠です。

このため、当行ではコンプライアンスを経営の最重要課題と位置づけ、信頼性と透明性の高い業務運営を確保するために、コンプライアンス態勢の確立に向け様々な施策を実施しております。

◎コンプライアンス態勢の整備

当行では、コンプライアンス全般を一元的に統括する部署としてコンプライアンス統括部を設置するとともに、コンプライアンスに関する重要事項を協議・決定する機関としてコンプライアンス委員会を設置しております。また、本部・営業店すべてにコンプライアンス責任者およびコンプライアンス推進者を配置し、コンプライアンスを確保するための組織体制を整備しております。

こうした組織体制のもとで、法令等遵守方針を制定し、すべての職員に対して公私にわたるコンプライアンスの徹底をはかっております。また、職員のコンプライアンスに対する理解を深めるために、コンプライアンス・マニュアルを制定し、勉強会や自己啓発等のテキストとして活用し、コンプライアンスの研鑽に努めております。

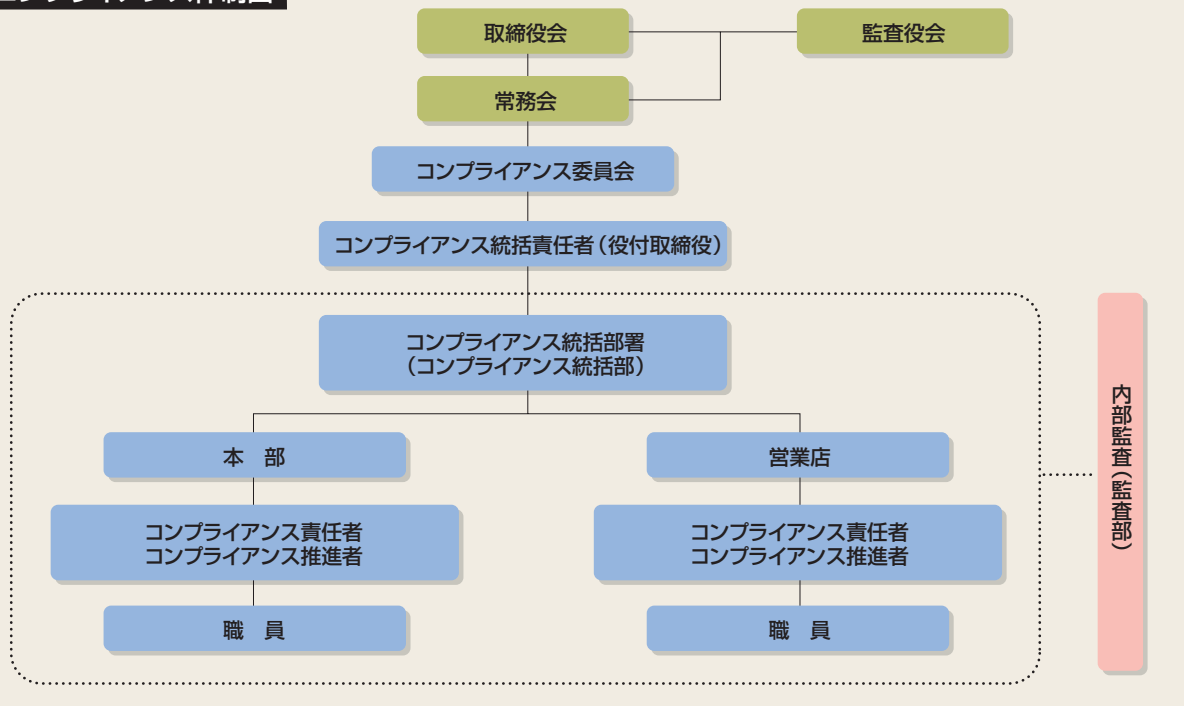
◎内部監査態勢の強化

当行では、全部室店を対象として監査部による監査を実施し、業務の運営状況等の監査を実施しております。内部監査規程に基づき、本部各部における相互牽制機能、プロセス管理機能等、内部統制の妥当性および有効性を監査するとともに、営業店における不祥事の防止、事務の厳正化の観点から総合監査と部分監査を実施しております。

◎コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンスの充実・強化をはかる具体的な計画としてコンプライアンス・プログラムを毎年度策定し、実行しております。平成20年度は、コンプライアンス態勢の整備・確立、役職員に対するコンプライアンス意識の徹底、コンプライアンスの自己点検、反社会的勢力への対応、金融商品取引法の遵守等を主な目標に掲げ、さまざまな施策を実行してまいりました。

コンプライアンス体制図



❖ お客様保護・個人情報保護への取組み

当行では、当行をご利用いただくお客様の保護ならびに利便性向上に向け、お客様保護等管理方針を定め、実効性のあるお客様保護等管理態勢の強化に取り組んでおります。

特に、元本割れなどのリスクがある金融商品（投資信託、

個人年金保険、外貨預金、国債など）の販売にあたっては、金融商品勧誘方針等に則り、適切な勧誘を行うことを徹底しております。また、個人情報保護法を遵守するため、個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）に基づき、お客様の個人情報の適切な保護と利用に努めております。

《金融商品勧誘方針》

秋田銀行は、「金融商品の販売等に関する法律」に則り、金融商品の勧誘にあたっては次の事項を遵守いたします。

- 1 お客様の知識、経験、財産の状況および運用目的に照らして金融商品の適正な勧誘に努めます。
 - 2 お客様ご自身の判断と責任においてお取引いただけるよう、商品の内容やリスクなどの重要事項について、適切な方法により、ご説明に努めます。
 - 3 店舗内での勧誘は、所定の営業時間帯に行います。また、訪問・電話による勧誘は、お客様のご要望のある場合を除き、深夜や早朝などの不適切な時間帯には行いません。
 - 4 誠実な勧誘を心がけ、断定的判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客様の誤解を招くような勧誘はいたしません。また、お客様のご迷惑となる場所・方法での勧誘はいたしません。
 - 5 お客様に対する勧誘の適正確保のため、研修体制などを充実し、商品知識の習得に努めます。
- ※ 当行へのご要望などがございましたら、営業支援部お客様サービスセンターまでお寄せ下さい。(TEL:018-863-1212)
- 当行が確定拠出年金制度の運営管理業務を行うにあたっては、確定拠出年金法上の「企業型年金に係る運営管理業務のうち運用の方法の選定および加入者等に対する提示の業務」および「個人型年金に係る運営管理機関の指定もしくは変更」に関して、上記の勧誘方針を準用いたします。

《個人情報保護宣言 (プライバシーポリシー)》

当行は、個人情報の適切な保護と利用に関する考え方および方針について、次のとおり宣言いたします。

- 1 当行は、個人情報保護に関する関係法令および業界ガイドライン等の規範を遵守いたします。
- 2 当行は、個人情報の利用目的をできる限り特定し、あらかじめ公表いたします。また、個人情報を適正かつ適法な手段により取得し、適切に利用いたします。
- 3 当行は、個人情報をその利用目的の範囲を超えて取扱いいたしません。ただし、あらかじめお客様の同意がある場合および法令等により例外とされる場合を除きます。
- 4 当行は、個人情報をあらかじめお客様の同意を得ることなく第三者へ提供いたしません。ただし、法令等により例外とされる場合を除きます。
- 5 当行は、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等の予防ならびに是正のため、必要、かつ、適切な安全管理措置を講じてまいります。
- 6 当行は、個人情報に関する開示、訂正、利用停止等の請求について、法令等に基づき遅滞なく対応いたします。
- 7 当行は、個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムについて、継続的に改善を行ってまいります。
- 8 当行は、個人情報の取扱いに関する質問および苦情について、適切、かつ、迅速に対応いたします。

【個人情報の取扱いに関するお問合せ先】

〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号

秋田銀行 お客様サービスセンター

電話:018-863-1212 (受付時間:銀行休業日を除く月曜日～金曜日 9:00～17:00)

http://www.akita-bank.co.jp

メールアドレス:info@akita-bank.co.jp

リスク管理態勢の強化

リスク管理態勢

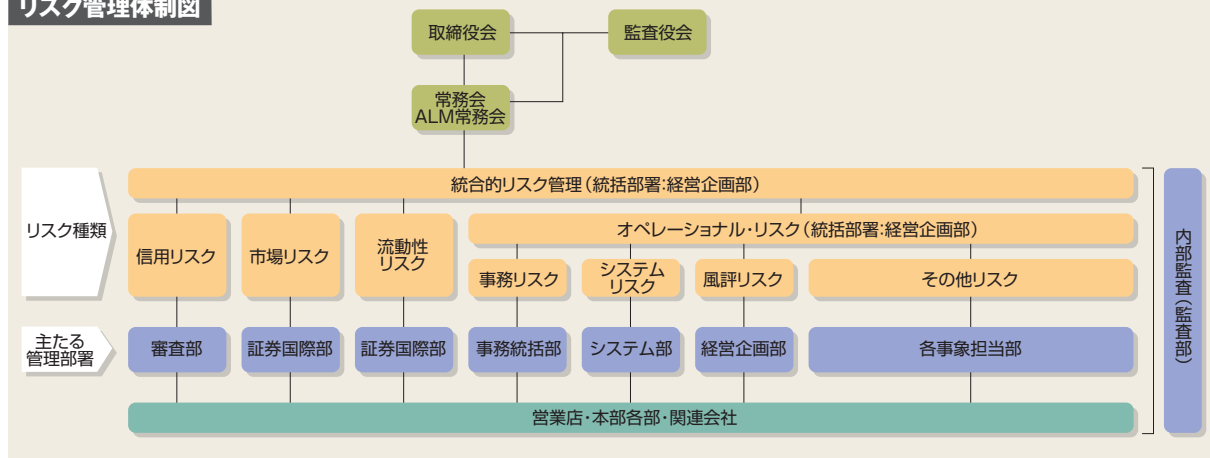
金融の自由化・国際化の進展等により、多様化・複雑化したリスクを的確に把握し、管理していくことが必要不可欠となっております。

当行では、銀行経営の健全性と適切性を確保するため、リスク管理方針を次のとおり定めるとともに、各業務ごとに所在するリスクについての管理方針も定め、経営企画部による「リスクの一元管理」を行っております。

基本方針

- 経営内容と業務の現状を的確に認識し、各業務ごとに所在する各種リスクの量および特性を把握・測定する。
- 過度な収益追求やリスク回避に陥ることのないよう、収益とリスクのバランスをはかりながら適切なリスク管理を行う。
- 受入可能限度を超えるリスクの発生を未然に防止し、適切な管理を行うためのリスク分散・回避・圧縮等の方策を定める。
- 相互牽制機能が発揮される組織体制を構築するとともに、リスク管理の高度化をはかるため、人材の育成、新管理手法の導入、システムの活用等を行う。

リスク管理体制図



統括的リスク管理

統括的リスク管理とは、金融機関の直面するリスクに関して、それぞれのリスクカテゴリーごと（信用リスク、市場リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、経営体力（自己資本）と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当行では、年度ごとに自己資本の範囲内で各部門およびリスクカテゴリーごとに資本配賦を行い、VaRなどの手法で計量化したリスク量と配賦資本の状況をモニタリングし、経営の健全性と自己資本の十分性を検証しているほか、定期的に取り締り委員会等に報告を行い、状況に応じて適切にリスク量を制御しております。

また、リスク量の制御にあたっては、経営の効率化と収益性の向上をはかっていくため、リスク・リターンを適正に評価するなど、収益性・効率性を考慮した管理に取り組んでおります。

信用リスク管理

信用リスクとは、お取引先の財務状況の悪化等により、貸出金などの当行の資産の価値が減少ないし消滅し、損失を被るリスクのことです。

融資の基本方針や審査基準の概念を定めた「クレジットポリシー」、その具体的な内容等を定めた「信用リスク管理基準」のもと、特定業種、特定グループ等への集中排除や、連結子会社、政策投資等にかかる管理方針を定め、リスク管理の適正化をはかっております。

また、事業融資先に対して信用格付制度を導入しており、これに基づいて信用リスクを定量化しているほか、融資プライシングの改善を進めております。

さらに、信用リスクの大部分を占める貸出については、審査管理部門と営業推進部門を分離し、営業推進部門の影響を受けない審査管理体制としており、審査・管理回収に特化した体制で資産の健全性の維持、向上に取り組んでおります。

❖ 市場リスク管理

市場リスクとは、金利、有価証券等の価格、為替相場などのさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し損失を被るリスクのことです。

これらのリスクには、具体的には、金利の変動にともなって発生する金利リスク、有価証券などの価格変動にともなって発生する価格変動リスク、為替相場の変動にともなって発生する為替リスクなどがあります。

当行では、銀行全体の資産、負債等にかかる金利リスク量や市場関連取引にかかる金利・為替・株価についてのリスク量を定期的に「ALM(※)常務会」に報告する体制を敷き、管理体制の強化をはかっております。また、市場関連取引については、運用部門(フロント業務)、事務部門(バック業務)、管理部門(ミドル業務)に分離し、相互牽制機能を働かせ、万が一の事務ミス、不正取引等の操作を防止する体制としております。

用語解説

【ALM (Asset Liability Management)】

経済・金利予測などを踏まえ、各種リスクを許容できる範囲内にコントロールしつつ、収益の極大化をはかるために、銀行全体の資産と負債を総合的に管理することを目的とするものです。

❖ 流動性リスク管理

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出等により、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたり(資金繰りリスク)、市場環境の変化等の影響で、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされること(市場流動性リスク)などにより損失を被るリスクのことです。

流動性リスクに対しては、資金の運用残高・調達残高の予想、検証の精度を高めて資金ポジションの適切な管理を行うとともに、資金繰りに影響をおよぼす金融市場の情勢、その他社会情勢の把握・分析を行って流動性リスクの回避に努めております。

さらに、資金繰りの管理については、平常時・懸念時・危機時と状況に応じた管理体制に基づき、各々の局面において速やかに対応できる体制としております。

❖ オペレーショナル・リスク管理—事務リスク—

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは、事故・不正行為等を起こすことにより損失を被るリスクのことです。

当行では、事務規程の整備、研修・臨店事務指導などにより事務の厳正化をはかるとともに、各営業店と本部に事務厳正化委員会を置き、実例に基づくトラブルへの適切な対応の検討を行ってリスク管理の徹底をはかっております。また、監査部は、こうした事務リスク管理態勢について、営業店、本部および関連会社に対して機動的な監査を実施し検証を行っております。

さらに、事務効率化の観点から事務の本部集中を進めるとともに、事務事故データの収集を進め、分析することで事務プロセスの改善をはかっております。

❖ オペレーショナル・リスク管理—システムリスク—

システムリスクとは、コンピュータ・システムのダウンまたは誤作動等、システム不備にともない損失を被るリスク、さらにコンピュータが不正に使用されることにより損失を被るリスクのことです。

当行では、ホストコンピュータシステムの運用・管理の拠点となっている事務センターを耐震・耐火構造にしているほか、電源供給装置や自家発電設備の二重化、24時間監視入退館システムを導入しております。また、重要データファイルの隔地保管、通信回線の二重化、大規模災害に備えたバックアップセンター(東京都)の設置などコンピュータ・システムの安全対策と安定稼働に取り組んでおります。

さらに、システム開発計画やシステムの信頼性・安全性・効率性については、独立した内部監査部門である監査部内の※EDPシステム監査担当が厳格なチェックを実施しております。

※ EDP (Electronic Data Processing) : 電子データ処理

❖ オペレーショナル・リスク管理—風評リスク—

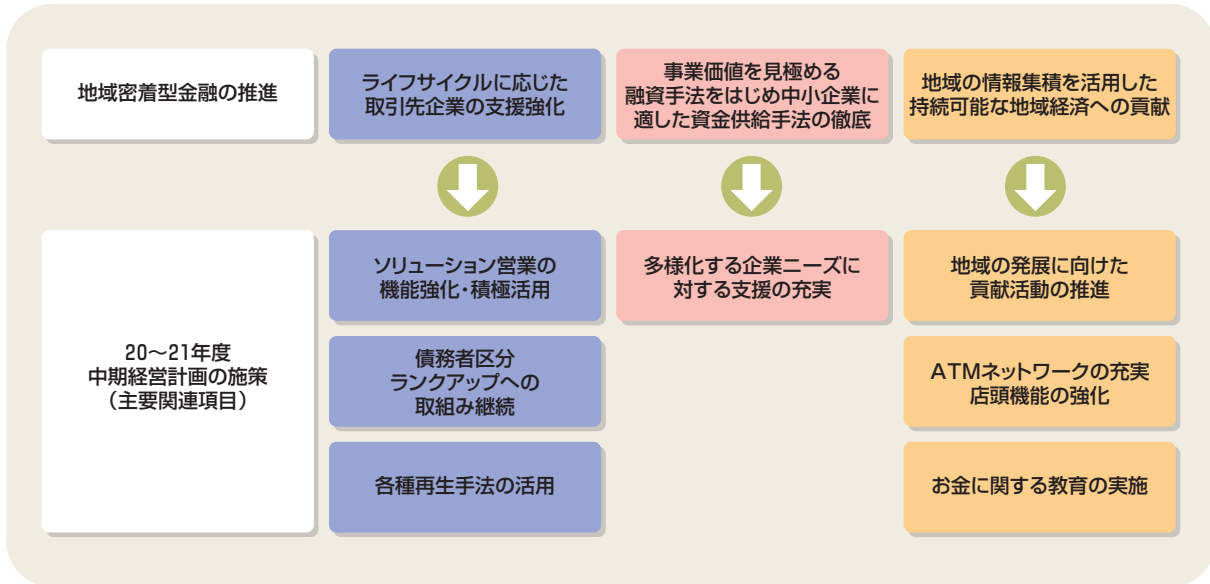
風評リスクとは、誤った経営情報や事実と異なる風評などの流布により、不測の損失を被るリスクのことです。

経営に重大な影響を与える場合もあることから、風評リスクの未然防止の観点も含めて、積極的な情報開示に努めております。また、万一、風評被害が発生した場合は、迅速・適切な対応を行い、被害を最小限にとどめ、お客様への金融サービスを維持できるよう「風評被害対策マニュアル」を定めております。

地域経済活性化に向けた取組み

❖ 地域密着型金融の推進

当行は、「地域共栄」の経営理念のもと、地域の発展に貢献するため、円滑な資金供給に努めるとともに、金融機関に対するお客様や地域のニーズにお応えすることを目指しております。地域密着型金融への取組みにつきましては、中期経営計画の各種施策として掲げており、これらを着実に実施することにより積極的に推進いたしてまいります。



取組み状況

◎ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

お客様の販路拡大などに加え、地域経済の活性化につながるビジネスマッチングに積極的に取り組んだほか、貿易・海外進出や事業承継などに対する相談機能の強化に努めました。

また、財務内容に問題を抱えるお客様に対する経営改善・企業再生に向けた支援を実施いたしました。

◎ 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

財務情報のみならず、定性情報を含めた地域での情報を活かし、お客様の事業価値を見極めることで、動産を担保とする融資など新たな資金供給手法を活用いたしました。

また、不動産担保や第三者保証人を必要としない融資商品の利用拡大をはかったほか、原油価格対策や緊急経済対策の制度融資により中小企業の資金繰り安定化を支援いたしました。

◎ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済発展への貢献

地域力連携拠点である(財)あきた企業活性化センターの支援機関として県内企業の支援に取り組みました。

また、ATMネットワークの拡充や店頭機能の強化を進め、個人のお客様の利便性向上をはかったほか、地域の次代を担う子どもたちに対するお金に関する教育も継続して実施いたしました。

20年度取組み実績

	目標	実績	目標達成率
ビジネスマッチング機会のご提供件数	400先	514先	128.5%
債務者区分ランクアップ先数	20先	35件	175.0%
不動産担保・第三者保証人を必要としない商品の取扱件数	700件	535件	76.4%

	目標	実績	目標達成率
「資産運用相談コーナー」の新設店舗数	20か店	20か店	100.0%
お金に関する教育の実施校数	9校	10校	111.1%

経営支援総合サービス

＜あきぎん＞^{ビスコム}Biscom

＜あきぎん＞^{ビスコム}Biscomは、事業者の方々を対象とした会員制経営支援総合サービスです。

インターネットを利用して、「全国の企業約50,000社とのビジネスマッチング」、「経営上の相談」、「会員相互の情報交換」などが可能なほか、経営に役立つ情報を

タイムリーにご提供しております。

また、インターネット上でのサービスのみならず、対面による商談や交流の場として特別懇話会等も開催しております。



会員数約860先
(21年5月末現在)



「あきぎんBiscom」トップページ

ビジネスマッチング機会のご提供

第3回アグリブリッジ～あきた「食」のマッチングフェア

農業経営の改革・新展開を目指すお取引先に対し、行政機関、日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業との連携による経営サポートや、食品加工、流通業者とのビジネスマッチングを行っております。

平成21年2月には、＜あきぎん＞^{ビスコム}Biscomと日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業は、「第3回アグリブリッジ～あきた『食』のマッチングフェア」を共同で開催いたしました。当日の来場者は約900名にのぼり、商談件数は282件、成約件数も30件を超える活発な商談会となりました。



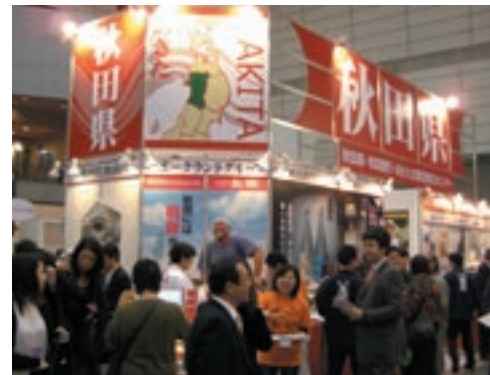
会場の様子

FOODEX JAPAN 2009
(第34回 国際食品・飲料展) への共同出展

平成21年3月、県産品の販路開拓に意欲的な地元企業の支援・育成をはかるため、秋田県と共同で、アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN 2009」へ秋田県ブースを出展いたしました。

秋田県ブースには、首都圏向け販路拡大に取り組む地元企業13社が出展し、期間中だけで約20件の商談が成約いたしました。

今後も、行政機関との連携・協力を密にし、地元企業の販路開拓支援を通じた地域経済の活性化に取り組んでまいります。



「FOODEX JAPAN 2009 (2009.3.3～3.6)」

ネットビジネス
Netbix (北東北三行共同ビジネスネット)の活動

当行では、岩手銀行および青森銀行と共同で、三行が有するネットワークを活用したビジネスマッチングの機会の創出等を目的とする「北東北三行 共同ビジネスネット(Netbix)」事業を展開しております。

この活動の一環として、これまで北東北三県および東京都において合計6回の「ビジネス商談会」を開催しております。また、地元企業等を対象先とした「個別商談会」も定期的に開催しております。

Netbixとは?
Network for Business Information Exchange
(ビジネス情報交換ネットワーク)の略称です。

ネットビジネス(Netbix)は、平成12年のATM相互開放に続き、北東北三県のトップ地銀が情報を持ち寄り、三行の支店網や情報収集力を活かして法人顧客に対するサービスをはかるため、平成15年4月に発足したものです。

共有する主な情報

- 1 商品の販売先・仕入先や受注・発注等に関するニーズ
- 2 新規出店等、企業進出に関するニーズ
- 3 M&A(事業承継、業務提携、買収、合併等)に関するニーズ



商談の様子

資金調達ニーズの多様化への対応

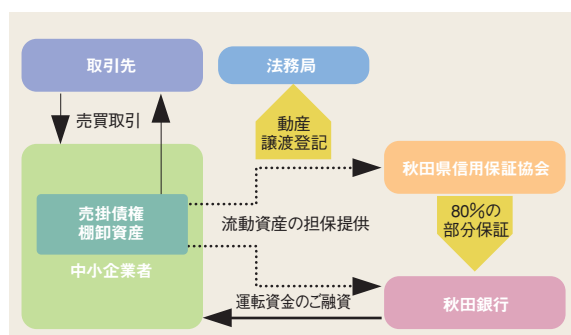
流動資産担保融資制度による融資枠設定

全国的にも動産担保融資(ABL※)の枠組みが広がっておりますが、当行では、信用保証協会の「流動資産担保融資保証制度」を活用し、お客様の売掛債権、製品等の在庫を担保として融資枠を設定させていただくことで、お客様の資金調達の円滑化・多様化をはかっております。

用語解説

【ABL(アセット・ベースド・レンディング)】

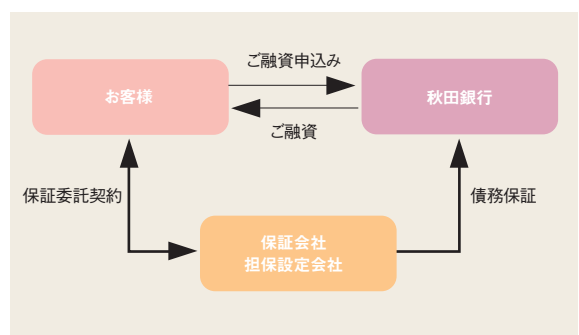
企業の事業そのものに着目し、企業が保有する債権や在庫などの動産を担保として行う融資です。



動産担保融資商品の取扱い

法人のお客様が保有する機械設備を担保とする「〈あぎざん〉機械活用ローン」(三井住友ファイナンス&リース株式会社提携)、法人のお客様が保有する車両を担保とする「〈あぎざん〉車両活用ローン」(オリックス株式会社提携)の取扱いを開始しております。

従来は、お客様の保有する土地・建物等不動産を担保とさせていただきご融資が中心でしたが、本ローンの活用により、お客様は、車両および保有機械の資産価値を活用した事業性資金の調達が可能となります。



ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

❖ 創業・新事業支援

創業や新事業進出を検討されるお客様に対して、営業店と本部が一体となり、事業性評価、資金調達、補助金の活用などに関する情報提供・アドバイスをはじめとした各種支援を実施しております。

❖ 事業再生支援

審査部内に設置した「企業経営支援室」が中心となり、営業店やお取引先企業と協力して取り組んでいるほか、必要に応じて整理回収機構(RCC)や中小企業再生支援協議会などを活用し事業再生支援に取り組んでおります。

❖ 事業承継支援

平成20年11月、あきた企業活性化センターおよび中小企業基盤整備機構と共同で、中小企業経営者を対象とした「事業承継セミナー」を県内4か所で開催いたしました。

このセミナーのほか、事業承継を検討しているお取引先に対し具体的なアドバイスをはじめとした各種支援を実施しております。

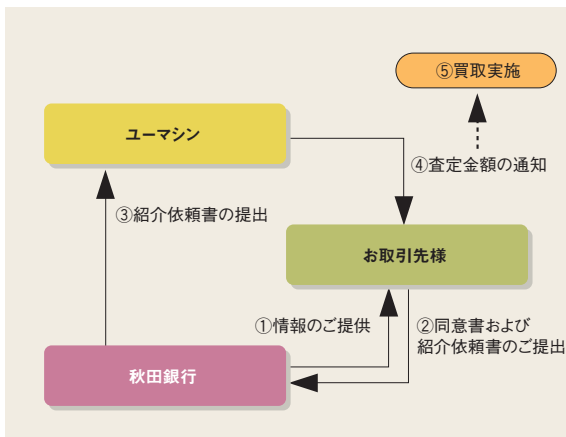


潜在ニーズへの対応

❖ 中古機械買取(購入)サービスの仲介

株式会社ユーマシンと提携し、「遊休機器の売却」または「様々な産業機器の購入」を希望されるお客様に同社をご紹介するサービスを開始しております。

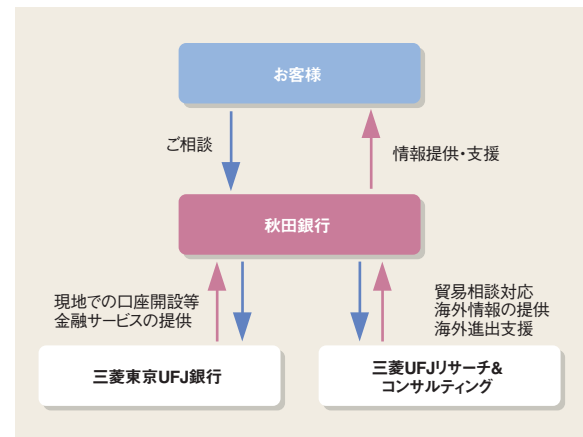
本サービスにより、廃棄費用や廃棄手続の負担軽減、特定のメーカーに縛られない幅広い機械の選択等が可能となります。



貿易・海外取引の支援

❖ 貿易取引のサポート体制の強化

国際業務に豊富なノウハウを有する三菱東京UFJ銀行および三菱UFJリサーチ&コンサルティングと提携し、当行のお取引先の海外進出や海外マーケット戦略のサポート、対外信用調査をはじめとする貿易取引に関わる情報提供などのバックアップ体制を強化いたしました。



お客様の利便性向上への取組み

ATMネットワークの拡大

当行では、秋田県内3信金・1信組・16JAとATM業務提携「秋田あったかネット」をスタートさせるとともに、イーネットおよびローソンATMと秋田県内初となるコンビニATM提携もスタートいたしました。これら

の提携により、当行キャッシュカードをお持ちのお客様が利用可能なキャッシュポイントが、秋田県内約670か所、全国約29,700か所と飛躍的に増加いたしました。

(平成21年5月末現在)

		県内ATMの設置状況	
提携金融機関	秋田信用金庫	秋田あったかネット	524か所 (当行ATMを含む)
	秋田ふれあい信用金庫		
	羽後信用金庫		
	秋田県信用組合		
	JAバンクあきた		
	青森銀行	AAIネット	3か所
	岩手銀行		
東邦銀行			
コンビニ等 設置ATM	セブン銀行	全国約13,900台設置	2か所
	ローソンATM	全国約 6,100台設置	104か所
	E-net	全国約 9,700台設置	42か所

Only Oneクレジット

当行では、「生体認証付クレジット一体型ICキャッシュカード」を発行しております。キャッシュカードとクレジットカードの一体化によって利便性が高まっていることに加えて、「ICチップ」および「生体認証機能」によるセキュリティ面の強化がはかられており、平成21

年3月末時点で6万人を超えるお客様にお使いいただいております。

また、条件により年会費やATM時間外手数料が無料になるサービスも行っております。

ICチップ&生体認証機能付
キャッシュカード

+

クレジットカード



- 特典 **1** 初年度の当行ATM時間外手数料無料
- 特典 **2** 初年度の年会費無料(ゴールドカード除く・2年目以降も所定のお取引で無料)
- 特典 **3** とくだね倶楽部のポイントがアップ(2P~最大9P)
- 特典 **4** クレジットカードのご利用金額に応じてポイントがたまる

※詳しい内容は、当行ホームページまたは窓口のパンフレットでご確認いただけます。

個人向けポイントサービス「とくだね倶楽部」

個人向けポイントサービス「とくだね倶楽部」は、当行とのお取引内容をポイントに換算し、ポイント合計によって特典が追加されるステージ制のサービスです。各種手数料や金利がお得になるほか、カタログギフト対象となるお取引とポイント例の配分

のプレゼントなどもご用意しております。入会金、年会費等は一切かかりません。窓口、ATMで入会およびポイント確認ができます。

お取引項目		ポイント
① 給与振込		5
② 年金振込		3
③ 定期預金・投資信託・外貨定期預金・公共債	月末残高に応じてポイントが付きます。	1~10
④ Only One クレジット (JCB、VISA)	一般カード (含むJCB LINDA、VISA アミティエ)	2
	ゴールドカード	3
⑤ Only One クレジットのご利用 (次のいずれか1項目)	公共料金等のお支払い	1
	ショッピングご利用額に応じてポイントが付きます。	2~6
⑥ 公共料金の自動振替		各1、最大5
⑦ 住宅関連ローン		5
⑧ その他個人ローン		2
⑨ 当行株式の配当金振込	1千株以上	2
	1万株以上	3



※ポイントの詳細内容は、当行ホームページまたは窓口のパンフレットでご確認いただけます。

特典——各種手数料がお得に!

ステージ ①	ひかる芽	[ポイント] 7~9点	特典	・インターネットバンキングの基本手数料無料!
ステージ ②	しげる葉	[ポイント] 10~17点	特典	上記特典に加えて ・当行ATM時間外手数料無料! ・ATM振込手数料「本支店間 53円割引」、「他行あて53円割引」
ステージ ③	さく花	[ポイント] 18~22点	特典	上記特典に加えて ・ATM振込手数料「本支店間 無料」、「他行あて105円割引」 ・貸金庫手数料50%割引、ICカード発行・更新手数料無料!
プレミアム ステージ	むすぶ実	[ポイント] 23点~	特典	上記特典に加えて ・振込手数料「本支店間 無料」、「他行あて210円割引」 ・年1回5,000円相当のカタログギフトプレゼント!

※「とくだね倶楽部」の詳細内容は、当行ホームページまたは窓口のパンフレットでご確認いただけます。

資産運用に関するニーズへの対応

❖ 資産運用相談コーナーおよびインフォメーションボードの設置拡大

店頭金利だけではなく当行の取扱商品、経済指標、各種ニュース等の情報をご提供する「多機能インフォメーションボード」の設置を全店へ拡大いたしました。お客様のニーズにお応えするさまざまな情報の提供を行ってまいります。

お客様のプライバシーを守るとともに、ゆっくりと安心して相談できる「資産運用相談コーナー」の設置を拡大しております。平成21年3月末までに50か店に設置いたしました。

多機能インフォメーションボード



資産運用相談コーナー（御所野ニュータウン支店）

資金ニーズへの対応

❖ 各種ローンラインナップの充実

お客様のライフステージに合わせて、それぞれのステージでの資金計画に的確にお応えできるよう、ローンラインナップの充実に努めております。



❖ 秋田県内大学・短大向け教育ローン

通常の教育ローンに加えて、秋田県内6大学、2短大にご入学する方、ご在学されている学生およびその保護者の方を対象とした教育ローンの取扱いを行っております。

特別金利も適用させていただいております。

[取扱商品一覧]

- 〈あきぎん〉秋田大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉秋田県立大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉ノースアジア大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉秋田看護福祉大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉秋田栄養短期大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉国際教養大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉日本赤十字秋田看護大学・教育ローン
- 〈あきぎん〉日本赤十字秋田短期大学・教育ローン

❖ 個人ローンセンター

経験豊かなローン専門スタッフが、住宅ローンをはじめとして各種個人ローンのお申込・ご相談を承っており、多くのお客様にご利用いただいております。

個人ローンセンターでは日曜営業を行っております。



本店個人ローンセンター

名称	場所	月	火	水	木	金	土	日
本店個人ローンセンター	本店営業部1階			9:00~17:00				10:00~16:00
大曲個人ローンセンター	大曲支店			9:00~17:00				10:00~16:00
大館個人ローンセンター	大館西支店			9:00~17:00				10:00~16:00

※本店営業部、大曲支店、大館西支店に限らず、お客様の「お取引店へのお申込み」についても承ります。

地域社会の一員として

地域の将来を担う子どもたちへの支援

❖ お金に関する教育への取組み

地域の次代を担う子どもたちが健全な金銭感覚や就業意識を身に付け、主体的・積極的な経済行動のとれる人間となるよう、お金に関する教育に積極的に取り組んでおります。

具体的には、県内の小・中学校を対象に「お金のたらしき」や「経済の仕組み」について、当行職員が講師となり、企業見学なども取り入れた授業を行っております。平成20年度は秋田市、大館市などの小・中学校計10校で授業を実施いたしました。



行員による授業風景

段階	項目	学習内容	ねらい	配時
問題意識	1 あなたとお金のかかわり	・パソコンを使ってクイズを実施し、マネーキングを目指す	・お金に対する関心をもてたか	2
	2 お金って何	・お金とは何か、お金はどこからきて、どこへ行くのかを考える	・「お金とは何か」問題意識をもつ ・仕事してお金を得ることの重要性に気づく	
	3 お小遣いを貯めてデパートへ行く	・お小遣い帳の付け方を知る ・ゲームを通して、お小遣い帳を付けるよさを考える。	・お小遣い帳のつけ方を知り、お金を計画的に使い、自分で管理することの大切さを理解する。	2
	4 銀行の仕事と役割	・銀行には、「どんな仕事があって、それが社会でどのように役立っているか」お話を聞く	・銀行の仕事や役割について理解できたか	
活かす	5 ほいものにはキリがない	・ほいものとは必要ものを分けてもらい、最終的に本当にほしいものを見つける	・必要なものと欲しいものとの区別がつくようになったか	2
	6 予算は限られている	・予算内で材料を選んでもらい、カレーライスを作る（実際に調理はしない）	・限られた予算のなかでどのように選択し、意思決定していくか理解する	
事前学習	7 モノの値段の決め方	・ゲーム「お祭りでお店を出す」を行う ・ゲームを振り返り、ものの値段の決め方について考える	・ものの値段の決め方、ものとお金の流れを理解する	2
	8 身の回りの大人の仕事	・身の回りの大人の人に仕事についてインタビューし、最終的に将来の自分の仕事について考える	・仕事の喜び・苦勞、仕事をする意味などについて理解できたか	
発見	9 ゲストティーチャーによる講話	・ゲストティーチャーの方に教室に来てもらい、お話を聞く	・地元企業の仕事、お金の関わりについて理解できたか	2
調査	10 実地見学	・実際に企業を見学をする	・地域の産業を知り、その方々の苦勞や喜びを聞き、課題を感じ取ることができたか	4
解決	11 見学のまとめ	・グループにわかれて見学したことをまとめ、発表会のための資料をつくる	・工夫のあるまとめ方、見る人にわかりやすくまとめたが、課題に対する自分の考えを要約できたか	4
表現	12 発表	・みんなの前で発表する	・自分の考えを整理して、発表できたか、質問に答えることができたか	2

カリキュラム例

❖ 親子でチャレンジ! あきぎんワクワク探検隊の開催

平成20年8月に地域の小学生と保護者の方を対象に「親子でチャレンジ!あきぎんワクワク探検隊」を開催いたしました。

この企画は、銀行内見学や金融に関するクイズ、ゲームなどを通じて、楽しみながら「お金の大切さ」や「銀行の役割」について学ぶことを目的としたもので、2日間で合計54組の親子にご参加いただきました。



銀行内見学の様子

❖ エコノミクス甲子園(秋田大会)の開催

社会にはばたく直前の高校生に、楽しみながら金融経済を学ぶきっかけをご提供するため、平成20年11月に金融知力普及協会と共催で「エコノミクス甲子園～秋田大会」を開催いたしました。

今回が2回目の開催となり、当日は20チームが全国大会出場権をかけて熱戦を繰り広げました。



大会の様子

環境保護への取り組み

❖ ふるさとの豊かな自然を守るために

秋田県は、世界自然遺産である白神山地をはじめとした豊かな自然に恵まれております。当行は、こうしたかけがえのない自然を守り、次世代へ引き継いでいくため、森づくり活動の地銀ネットワークである「日本の森を守る地方銀行有志の会」の発起人となるなど、森林保全へ積極的に取り組んでおります。

また、世界的規模で地球温暖化防止への意識が高まるなか、当行ではCO₂削減に対する取り組み方針として「あきぎんエコ宣言」を制定し、地域社会の一員として地球温暖化防止に向けた活動にも積極的に取り組んでおります。



世界自然遺産・白神山地のブナ林

❖ 「あきぎんの森」づくり活動

秋田県では、昭和57年に旧象潟町の海岸林で松食い虫被害が確認されて以来、年々その被害区域が拡大し、現在では大館市と小坂町を除く全市町村で被害が発生しております。こうした状況を鑑み当行では、創業130周年記念事業の一環として、松食い虫被害により失われた松林を再生し、次世代に引き継いでいくために、東北森林管理局由利森林管理署と協定を締結し、植栽活動を実施いたします。

平成21年10月に、当行職員が主体となり由利本荘市の水林国有林内において松の植栽を予定しており、「あきぎんの森」づくり活動として、今後同地で森林整備を行ってまいります。

❖ 「環境保護ポスター」の募集および展示

子どもたちが環境保護に関心を持ち、進んでエコ活動を実践するきっかけとしてもらうことを目的に、当行では、創業130周年記念事業の一環として、秋田県内の小学生を対象に「環境保護」をテーマとするポスターの募集を行います。また、そのポスターの展示を通じて、県民の皆さまに環境保護への理解を呼びかけます。



❖ <あきぎん>エコ定期みどり

(取扱期間:平成20年6月2日～平成20年6月25日)

定期預金残高の0.05%相当額(上限額4百万円)を当行が拠出し、秋田県緑化推進委員会へ寄付するもので、平成21年7月26日、同委員会へ総額3,939,010円を寄付いたしました。

❖ クールビズ・ウォームビズの実施

夏季期間中は、原則上着、ネクタイなどを着用せずに軽装とし、室内温度を原則28℃に設定します。

冬季期間中は、ベスト、カーディガン等のインナーウェアの着用により調整し、室内温度を原則20℃に設定します。